

消防出張所予定地 売却問題対策委員会 活動報告会

桂 坂

2019年1月23日 特別号 2号
発行 桂坂学区自治連合会 山崎貴治

ホームページは 検索 

～桂坂がいつまでも輝き続けるために～

日 時 平成31年2月10日(日)午前10時00分～11時30分 (開場9時45分)
会 場 「桂坂小学校 カザラックルーム」
内 容 京都市消防局西京消防署による説明
桂坂学区自治連合会消防出張所予定地売却問題対策委員会による経過説明
京都大学大学院工学研究科教授による桂坂のまちづくりに関する特別講演

昨年12月12日発行の「広報紙桂坂」特別号でお知らせいたしましたが、平成30年7月14日の桂坂学区自治連合会定例役員会に京都市消防局西京消防署幹部が出席し、桂坂センターC地区内の消防出張所予定地(西京区御陵大枝山町四丁目32番4番、「桂坂中央」バスターミナルの南にある宅地、約210坪)を売却する意向が一方的に表明されました。この問題に対処すべく、桂坂学区自治連合会では、消防出張所予定地売却問題対策委員会を設置したうえで議論を重ね、12月18日に西京消防署及び西京区洛西支所を訪ね、京都市長宛てに「桂坂消防出張所予定地売却方針撤回及び関連まちづくり事項の申入書」を提出しました。要旨

1. 消防出張所予定地について、平成31年度末までに売却することを前提とした手続の一切を中止すること。
2. 京都市として、桂坂の今後の公共用地及び公共施設の在り方について検討する協議会を桂坂住民とともに立ち上げること。

です。

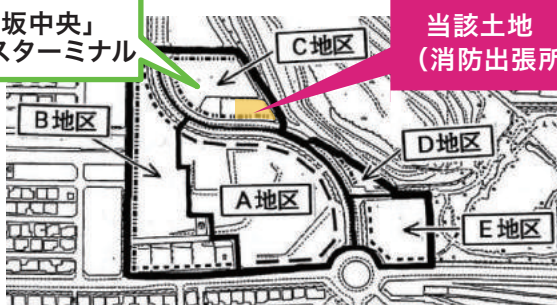
この申入書に対して、京都市長はいかに誠意ある回答をされたのか

も、この報告会にて、消防出張所予定地売却問題対策委員会より報告いたします。

2015年から日本は人口減社会が始まり、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、また、今からたった21年先の2040年には団塊の世代ジュニアも65歳以上となり高齢化のピークを迎えます。とてつもない高齢化社会が待っています。桂坂が衰えたまち、朽ちた家々とならないための対策を施せる時間は限られています。もはや待ったなしの段階になっています。京都市を覚醒させ、財政補填目的の当該地売却がいかに近視眼的で短絡的な発想なのか、京都市に認識してもらわなければなりません。

桂坂学区 30 周年記念事業の諸イベントが一段落し、桂坂の未来に向かっての新たな 30 年が始まろうとしています。反対のための反対運動をするつもりはありません。桂坂がさびれたオールドタウンにならないためには、どうしたら良いのかを真剣に考えており、この度、活動報告会を開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

「桂坂中央」
バスターミナル



当該土地
(消防出張所予定地)

※当日は、お車でのご来場はご遠慮ください。
スリッパのご持参もお願いいたします。

[主催者] 桂坂学区自治連合会
同消防出張所予定地売却問題対策委員会
FAX:075-320-2530(自治連・24時間受付可)
メール:kzsyobouyoteichitaisaku@gmail.com